

2ハンドル混合栓

取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
また、本書は別紙「安全上のご注意」とあわせてご使用ください。

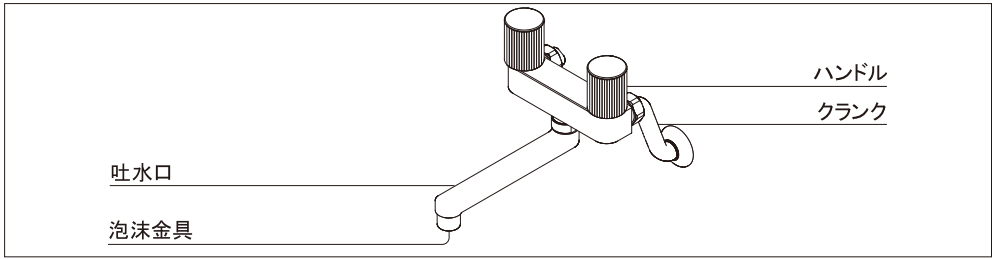
このたびは、当社製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

製品同梱明細

施工前に、下記の同梱部材がそろっていることをご確認ください。

●水栓本体 ●吐水口 ●クランク・クランクパッキン・ワン(各2個) ●取扱施工説明書 ●安全上のご注意

各部のなまえ

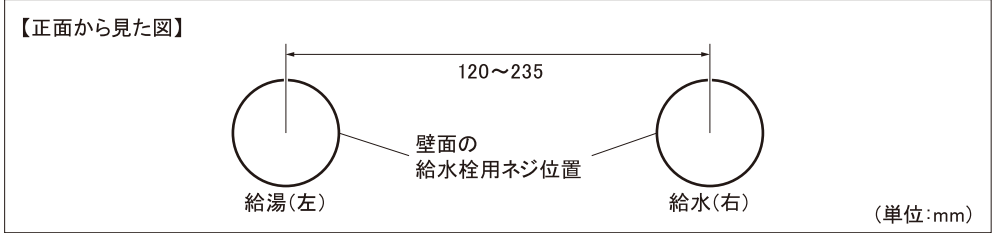


*品番によって図と製品の形状が一部異なります。

施工の前に

施工条件

壁面の給水栓用ネジが、以下の間隔であることをご確認ください。



本品は、正面に向かって左が給湯、右が給水となっています。
逆配管の場合は、施工の前に「逆配管アダプター(104-120:別売)」をお求めいただき、付属の取扱施工説明書に沿って取付けてください。



必ず実行

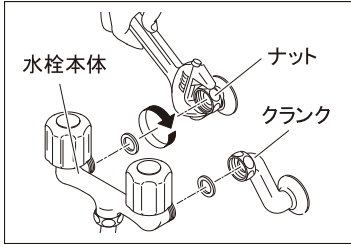
本品は重いので壁の強度をご考慮ください。

準備するもの

施工時は、
●モンキーレンチ ●シールトープ ●タオル
をご準備ください。
*その他、施工に必要な配管部材等は別途ご準備ください。

1. 古い水栓本体を取外します。

数秒間水を通し、配管内のゴミなどを洗い流してから、元栓を閉じて取付作業を行ってください。



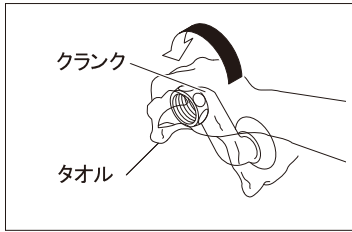


注意

クランクと水栓本体を固定しているナットを時計回りにまわして、クランクから水栓本体を取外します。
水栓本体は重いので、落下等に十分注意して作業を行ってください。

施工の前に(つづき)

2. 壁からクランクを取外します。

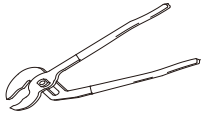


安全のため、固定されているクランクにタオルをあて、両手で反時計回りにゆっくりまわして取外します。
*壁内のザルボがゆるまないように、ご注意ください。
ゆるんでしまった場合は、下記「●ザルボが外れた場合の対処方法」を参考に対処してください。

●ザルボが外れた場合の対処方法

【作業に必要な工具】

●ウオーターポンププライヤー ●六角レンチ



六角レンチがある場合

六角レンチがない場合

①ザルボを「ウオーターポンププライヤー」などではさみ、クランクから取外します。

②ザルボネジ部のゴミを
取除き、**施工方法**
2.クランクのネジ部に
シールトープを巻付け
ます。を参考にザルボ
ネジ部にシールトープ
を巻付けます。

③ザルボを壁にねじ込み、
締付けます。

④クランクにザルボを取付けた状態で、**施工方法**に
お進みください。

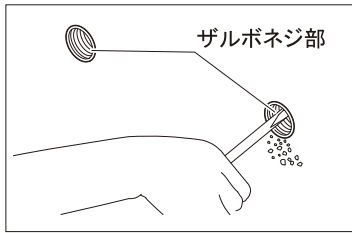
*この作業を行った場合、**施工方法** 文中の
「クランクのネジ部」は「ザルボのネジ部」となります。
ご注意ください。



注意

●ザルボの取付けは、確実に行ってください。壁の中ですので、漏水が発生した場合の確認が困難になります。
●ネジで手をケガする恐れがありますので、十分ご注意ください。

3. ザルボ内のネジ部の掃除をします。





注意

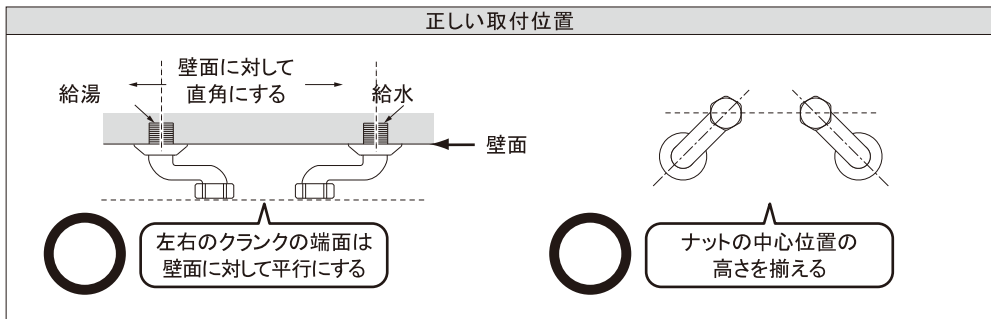
ネジ部にシールトープや接着剤が残っていると、漏水や水栓の故障の原因となります。
必ずネジ部の掃除を丁寧に行ってください。

施工方法

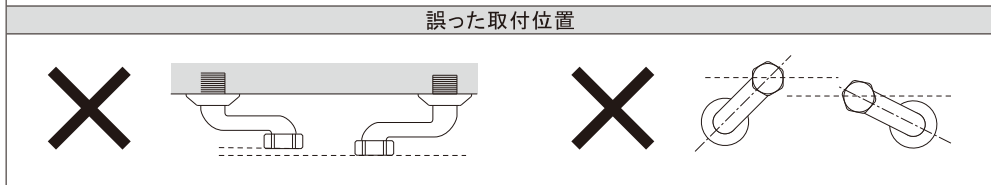
数秒間水を通し、配管内のゴミなどを洗い流してから、元栓を閉じて取付作業を行ってください。

1. クランクの位置を確認します。

正しい取付位置



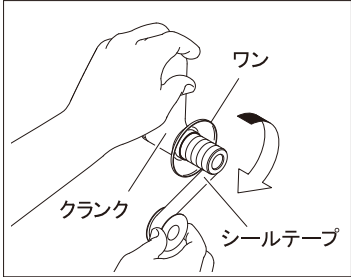
誤った取付位置



本品のクランクをそのまま壁に取付け、ナットの端面が図のように壁面に対して平行であり、ナットの中心位置がそれぞれ同じ高さになる時の、クランクの回転数を確認し記録しておきます。

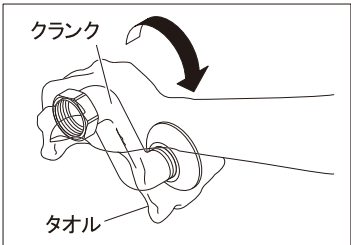
施工方法(つづき)

2. クランクのネジ部にシールテープを巻付けます。

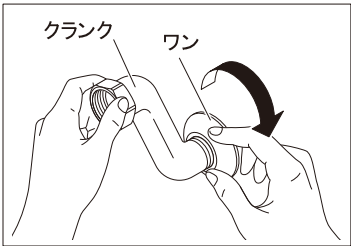


クランクにワンを取付け、片手でクランクをしっかりと握り、もう片方の手でクランクのネジ部にシールテープをあてます。そのまま軽く引張りながら時計回りに7～8回、ネジ部全体に均等になるように巻付けます。巻終えたら、シールテープを引きちぎります。

3. クランクを取付けます。



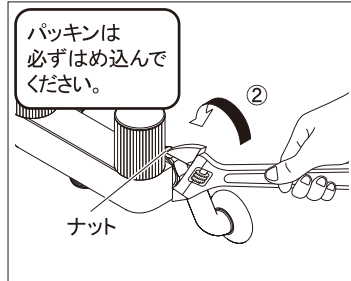
①クランクにタオルをあて、「1.クランクの位置を確認します。」であらかじめ確認した回転数より、1回少ない回転数まで時計回りにまわして締付けます。



②締付け終えたらワンをまわし、壁に密着させます。

クランクを取付ける際、逆(反時計回り)方向にまわしてゆるめると漏水の原因となります。もしもゆるめてしまった場合は、もう一度 **施工方法 2.クランクのネジ部にシールテープを巻付けます。**からやり直してください。

4. 水栓本体を取付けます。



①クランクのナットにクランクパッキンをはめ込み、水栓本体をクランクに取付けます。
②ナットを左右均等にしっかりと締付け、水栓本体をクランクに固定します。

水栓本体は重いため、落下等に十分注意して作業を行ってください。

5. 吐水口を取付けます。

* 吐水口・ナットの形状は品番により異なります。

吐水口の根元がOリングの場合

吐水口を水栓本体に差込み、ナットを締付けます。

必ず実行

吐水口を水栓本体に挿入する際は、Oリングに傷が付かないように、ゆっくりと真っ直ぐに差込んでください。

注意

①Oリングが逃げないように樹脂リング(図の 部)を手で押さえながら、樹脂リングがネジに当たるまでゆっくりと差込んでください。
②Oリングがはみ出さず、樹脂リングが全周しっかりとネジに接していることをご確認ください。
*Oリングがはみ出している場合は再度差込み直してください。

吐水口の根元がUパッキンの場合

①吐水口のUパッキンを取外し、Uパッキンを溝のある側を水栓本体側にして水栓本体にはめ込みます。
②吐水口を水栓本体に差込み、ナットを締付けます。

注意

Uパッキンの挿入方向を誤ったり、傷を付けたりした場合、漏水や回転不良の原因となります。ご注意ください。

施工後の確認

- ①元栓を開き、各部に漏水がないか確認します。漏水が発見された場合は、元栓を閉じ、漏水する箇所を施工し直してください。
- ②ハンドルを開き、湯水の混合具合および吐水状態を確認します。

凍結防止方法

一般地でご使用の場合

水栓周囲の温度が0℃以下になり凍結の恐れがある場合は、下記の方法で凍結を予防できる場合があります。

- 配管を保温する。
- 水栓から水を少量出しておく。(目安:1分間に200mℓ程度)
- 外気が入らないよう窓等を閉める。

*凍結により破損した場合は、保証期間内でも無償修理の対象外となります。

寒冷地でご使用の場合

凍結の恐れがある場合は、使用後に下記の方法で水抜きをしてください。

- ①配管の水抜栓を操作して、水が出ないようにします。
- ②両方のハンドルを吐水状態にし、水を抜きます。

*水栓に解氷機は絶対に使用しないでください。

注意

水抜きの際は、水栓本体等が熱くなっていたり、高温の湯が出てくる恐れがありますのでご注意ください。やけどの恐れがあります。

お手入れ方法

泡沫内芯のお掃除

吐水口に外ケースがある場合

吐水口に外ケースがない場合

ご使用開始時に比べて著しく水の出が悪くなった場合は、吐水口先端の泡沫内芯を取外し、ゴミなどの異物を水洗いして取除いてください。

器具のお手入れ いつまでも美しくご使用いただくために

- 水栓器具の金属部
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。
- 水栓器具の樹脂部・塗装面
乾いたやわらかい布でお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いたやわらかい布で水気を拭き取ってください。

注意

金属たわし、クレンザー・みがき粉等粒子の粗い洗剤、酸性・アルカリ性・塩素系洗剤、ベンジン、油やアルコール等は、本品を傷めますので使用しないでください。また、塗装面や印字部等にメラミンスポンジを使用しないでください。